

県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
BPW和歌山クラブ	<p>【活動目標】 認定NPO法人日本BPW連合会の単位クラブである「BPW和歌山クラブ」は連合会の統一テーマ「SDGs達成の要 ゴール5：ジェンダー平等実現へ加速！」に基づいた、和歌山らしい活動をと、2023年度はGGGI四分野のうち「経済・健康・政治」における和歌山での地域課題に取り組んだ。</p> <p>★日本BPW連合会統一活動 イコール・ペイ・ディ（EPD）広報活動：4月7日、18日、26日、27日実施。 男女ともに働き始め、男性が手にする額を女性が1年を超えて働いて手にする日＝イコール・ペイ・ディ。今年は4月28日。和歌山県は4月14日。 和歌山クラブとして企業5か所、行政5か所、労働組合1か所を訪問し、話し合った。</p> <p>*連合会主催「EPDオンラインキャンペーン」：4月28日。3名参加。 *長崎大会・総会：5月27日～28日。 同時開催のヤングスピーチコンテストに近畿代表として和歌山クラブ推薦の高柳沙月さんが出場。</p> <p>*公開講演会 「GGGI125位（過去最低）から抜けだすために何ができるか」 名取はにわBPW連合会理事長（元内閣府男女共同参画局局长）を招致しての講演会を和歌山クラブ10月例会を兼ねて実施。（ハイブリッド開催） 会場参加者39名、各クラブからのオンライン参加者27名。 計66名参加。</p> <p>*香川クラブ担当のBPW西ブロック研究会参加（2名）</p> <p>★例会活動（毎月第3土曜日 13:30～15:30） *4月15日 EPDキャンペーン総会準備。和歌山クラブの活動テーマ設定 *5月20日 和歌山クラブ総会・付帯事業（公開講演会） 講師：和歌山県経営者協会専務理事 児玉誠也さん テーマ：「ダイバーシティ経営」 *6月17日 長崎大会・総会を踏まえて今後の課題について *7月15日 卓話：辰田仁美さん （和歌山労災病院 働く女性健康研究センター長） 「働く女性の健康管理パートⅡ」 *8月19日 連合和歌山女性委員会との意見交換会 テーマ： 1 働き方改革（男性育休、女性のスキルアップ等） 2 役員、女性管理職の女性比率の向上に向けた取り組み *9月16日 10月、11月、12月例会の準備 *11月18日 女性議員との意見交換会（ハイブリッド開催） テーマ：「女性議員をもっと増やすためのカギは？」 ～政治分野のジェンダー平等を阻むもの 壁は何か～ *12月16日 講話：私の農業について「農業分野におけるジェンダー」（ハイブリッド開催） 講師：野尻久江さん *1月20日 「りいぶる25周年記念事業・講演会」参加 講師：小島慶子さん *2月17日 親睦意見交換会 *3月16日 新年度事業計画検討（ハイブリッド開催）</p>

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
GEはしもとサピユイエ	<p>★毎月一回例会を実施。</p> <p>★女性の居場所事業 サピユイエほっとサロンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月30日 自分の機嫌は自分でとる～誰かの機嫌取ってない?～ ・11月30日 自分のいい所発見～もっと自分が好きになる～ ・1月31日 これからの人生、自分らしくどう生きる? <p>★市内中学校にてデートDV防止授業を実施（橋本市と協働）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月16日紀見東中学校3年生4クラス ・1月16日高野口中学校3年生3クラス ・12月19日紀見北中学校2年生2クラス ・1月10日、11日、12日橋本中央中学校3年3クラス <p>上記4中学各クラス毎に授業を行った。</p> <p>★橋本市「まなびの日」（11月12日）にて女性への暴力防止の啓発活動パープルリボンキャンペーンを行った。りいびるの小中高生による男女共同参画啓発ポスター入賞作品の展示、パープルリボンツリー啓発、アンケート、手作り作品の啓発グッズを配布を実施した。</p> <p>★傷つきを抱える女性のためのこころのケア講座 会員向け研修を実施</p> <p>★和歌山県性暴力被害者支援ボランティア養成講座に参加</p> <p>★和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議 研修 参加</p>
HML(ハッピーママライフ)	<p>★御坊市教育委員会「子どもへの暴力防止」委託事業実施。 御坊市内の小学3年生にCAP（子どもへの暴力防止プログラム）ワークショップを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月31日 塩屋小学校CAP子どもワークショップ 9月15日 藤田小学校 // 9月20日 名田小学校 // 9月20日 野口小学校 // 10月18日 湯川小学校 // 11月10日 御坊小学校 // <p>★児童虐待防止推進月間の啓発及び寄付付商品の販売。及び寄付金によるCAPこどもワークショップの実施。 （協力店）紀の川市 パン・ド・パニエ、 有田市 FieldsR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月11日 広小学校CAP子どもワークショップ ・喫茶「雅園」とKGK紀の川元気会の各店舗で募金箱とパンフレットを設置。 <p>★4月9日 関西CAP連絡協議会参加</p> <p>★5月21日 CAPセンター・JAPAN定期総会参加</p> <p>★7月22日 えんばわめんと堺/ES 研修会参加</p> <p>★8月7日 えんばわめんと堺/ES 合同勉強会主催</p> <p>★8月19日 チーム紀伊水道御坊市交流会への参加</p> <p>★1月14日 CAPスペシャリスト資格更新のための研修会参加</p> <p>★定期ミーティング・練習会の開催</p>
JA和歌山中央会	<p>JA運営への女性参画の取り組み</p> <p>★JA女性役員研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 時期 令和5年8月 参加者 JA女性理事

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
<p>JA和歌山中央会 (つづき)</p>	<p>★県女性会と中央会・連合会役員との対話集会の開催 時期 令和5年12月 参加者 女性会役員他 内容 女性会参画について意見交換他</p> <p>★JAへの女性参画促進 ・女性の運営参画県域指標にもとづく参画促進 実践目標 県域指標 正組合員加入 50% 総代への就任 30% 理事への登用 15%</p>
<p>ウィメンスタディズ熊野</p>	<p>★男女共同参画の街頭啓発に参加</p> <p>★女性に対する暴力をなくす運動の街頭啓発に参加</p> <p>★DV被害者支援：電話及び面接相談、関係機関への同行支援</p> <p>★デートDV防止講座：小学校・中学校・高校への企画提案</p> <p>★DV・デートDV・児童虐待防止・性教育の講演会や講座の企画・講師派遣</p> <p>★新宮市の女性団体への人権研修会への講師派遣 「リスペクト・アザーズ」～DV・児童虐待防止～</p> <p>★他団体とのネットワーク：熊野市「パープル・リボンくまの」 学童及び大人への性教育講座</p>
<p>つばさの会・和歌山</p>	<p>★12月2日(土) 13:30~16:00 人生100年時代と言われる現代社会では、人生が長くなった分、これまでと違って、人々のライフコースも多様化しています。長い人生「やり直し」や「学び直し」とともに握力強く同時に複数の課題に挑戦する人たちも増えました。「二足のわらじ」や「二刀流」、「文武両道」などと表現されます。「これからの文武両道」について、実際に取り組んで来られた実践者によるフォーラムを企画しました。</p> <p>地域づくりフォーラム「地域と学校で創る文武両道」 和歌山県地域政策課「地域づくりアドバイザー派遣事業」 後援：和歌山市教育委員会 会場：和歌山市地域フロンティアセンター会議室C (和歌山市本町2丁目1番地フォルテワジマ6階)</p> <p>事例1：「二兎を追うものは二兎を得られる」 プレゼンター 有本利香氏(和歌山県立桐蔭高等学校教諭：音楽)</p> <p>事例2：「学校と地域と共に歩む」 プレゼンター 岩崎哲氏(和歌山親愛短期大学非常勤講師：社会教育)</p> <p>事例3：「文武両道を担う地域づくり」 プレゼンター 岸上光克氏(和歌山大学食農総合研究教育センター教授 ：地域連携)</p> <p>★その他 ニュースレター(「ねっとわーく」)の発行(年2回)</p>

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議	<p>★和歌山イコール会議 第11期総会（*毎期は10月～翌年9月まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会は、会員の利便性を考慮しオンライン併用で開催、10期事業・決算の報告と11期事業・予算計画ほか、役員等の改正を承認した。（12月3日、りいぶる会議室、36名出席） ・続く全員協議会では、各部会・地域ブロック会議から10期活動報告と11期活動計画説明を行った。 <p>★第11期総会 記念講演会（総勢55人参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会に続く記念講演会は、「性暴力の無い社会へ」～もしもに備える正しい理解と被害者支援～と題して、暴力防止部会が企画・運営を担当した。 ・「DVや性暴力はめったに起こらない」「そんなところにいたあなた（被害者）が悪い」など、社会が抱えている性暴力被害への誤った固定観念や偏見をなくし、被害者が安心して相談できる地域社会であるために、性暴力被害についての正しい理解と支援について、参加者と一緒に考えたいと開催した。以下の①～③に記載のとおり、正しい理解と支援、刑法性犯罪改正の内容と課題や、和歌山県の被害の実情と支援体制などについて講演を頂いたあと、クロストークを実施し、互いに質問をするなど意見交換がなされた。 ①「性暴力被害に対する正しい知識・サポートのあり方」～誰であっても二次被害を起こさないために～講師 国安 澄江 様/ウィメンズセンター大阪 スタッフ・女のためのからだ性と性の専門カウンセラー ②「性暴力被害者への法的支援」講師 惣谷 恵 様/弁護士（性暴力救援センター支援 PT 座長） ③「和歌山県内における性暴力被害の現状と支援体制」講師 奥田 美和子 様/和歌山県子ども・女性・障害者相談センター職員（前女性相談課主任・わかやまmine（マイン）支援員、現障害者支援課知的障害者支援係長） ④「Q&Aとクロストーク」出演：国安さん、惣谷さん、奥田さんさん、進行：松原敏美（和歌山イコール会議代表・弁護士） <p>★役員・運営委員会議 注：文中の「*」印はオンライン開催、「**」印はハイブリッド開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3回開催し、総会議題や記念講演会の運営、役員体制の見直しなどを協議した。また、8月の開催では今後の活動にむけ大きな励みとなった「県知事表彰受賞のお祝い会」を開催したほか、3月の開催では能登半島地震の義援金募集（防災部会）を決定した。（8月27日、11月19日*、3月24日） <p>★6部会と4ブロック会議</p> <p>コロナ禍終息で活動が徐々に充実し始めたが、会議などはオンライン開催が定着、ハイブリッド開催も多くなった。頻発する災害での支援活動も行った。各部会・地域ブロックの活動は以下のとおり。</p> <p>★地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山の地域を知ろうシリーズ第6弾「みなべ方面」を開催した。 コース：賢島散策→昼食→梅振興館（農業遺産のお話し）→千里の浜（ウミガメのお話し） ・和歌山の地域を知ろうシリーズ第7弾「上富田」を開催した。 全国に展開され話題となっている大人の社会塾「熱中小学校」を県内で先行し取り組んでいる「紀州くちくまの熱中小学校」に1日入学、素晴らしい地域の学びの場を体験した。 ・防災部会とコラボレーションのもと「第9回防災セミナーin 紀ノ川市」を開催した。（7月2日） <p>★防災部会 災害時や復興時の男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性のネットワーク構築にむけ、毎年開催の防災セミナーは、コロナ禍のオンライン開催から転換、「第9回防災セミナーin 紀ノ川市」を貴志川福祉防災ボランティア会と連携し、災害時のTKBを主題に4人の部会員が講師を務め貴志川保健福祉センターで開催した。（7月2日、参加者25名、TKB＝トイレ（排泄）、キッチン（食事）、ベッド（睡眠）のこと ・6月の豪雨災害では、相互の助け合いや災害ボランティア支援要請先を会員に周知した（6月3日）

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>・部会を4回開催、2月の部会では会員への能登半島地震への義援金募集を提案し、3月末には募金総額10万円を県の義援口座に振り込むことが出来た。 (4月2日*、5月13日**、11月11日*、2月17日*)</p> <p>・紀の川市更生保護女性会貴志川分会から要請を受け、防災講演とマイ・トイレ作成講習を貴志川生涯学習センターで行った。(3月6日)</p> <p>・他団体の講演会などにオンライン参加し、防災・減災に関する学びを深めた。 車泊訓練・勉強会に参加(4月26、28日、5月8日)*</p> <p>★働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した。</p> <p>・「ウエルビーイング講座」を開催した。会員が講師を務めウエルビーイングの有用性ほかを説明、個々の生活での導入や新たに企業での活用など知識を深めた。(10月21日)</p> <p>・他団体の講座等に参加し、働き方等を取り巻く諸問題を学んだ。 第7回介護離職防止対策シンポジウム(5月23日)* 日本BPW連合会EPD講演会(9月18日)*</p> <p>★子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育てや介護での男女共同参画をめざして活動した。</p> <p>・部会を開催、第12期総会記念事業の担当部会として「介護」をテーマに講演会を企画することとし計画づくりを開始した。(1月9日)</p> <p>・他団体の講座等に自主参加し、子育てや介護を取り巻く最近の状況などを学んだ。 第69回ESRI 政策フォーラム「次元の異なる少子化対策への挑戦」(4月26日)* 第7回介護離職防止対策シンポジウム(5月23日)*</p> <p>★暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した。</p> <p>・第11期総会記念事業の担当部会として、企画・運営計画作成に取り組んだ。(4月8日、7月26日、9月30日)</p> <p>・総会記念講演会にむけて、女性への暴力について事前アンケートを実施した。(10月31日~)*webアンケート</p> <p>・第11期総会記念講演会「性暴力のない社会へ」~もしもに備える正しい理解と被害者支援~開催当日、運営を部会員で行った。参加者アンケートからは、「立場の異なる三人の先生方から実情、支援の詳細等をきけたことで、表面的にしか理解できなかったことをより深く学べました。」「なかみの濃い講演会をきけてありがとうございます。本日学ばせて頂いたことが、自分の仕事や生活に役立てられるように努めたいと思います。」など、ほぼ満足の回答をいただいた。(12月3日)</p> <p>★多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動した。</p> <p>・部会は毎月欠かさず12回開催した。会員同士の多様性を尊重する活動として、各自の近況報告を交えながら「やりたいこと10」をテーマに掲げ、話し合いを継続した。また、3月の部会では、著書『正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ』が7つの言語による翻訳版が出版されるなど、世界中から注目を集めている「ハイヒールをはいた僧侶」西村宏堂さんについて紹介、会員で話し合った。(4月16日、5月6日、6月4日、7月8日、8月6日、9月10日、10月7日、11月12日、12月3日、1月27日、2月18日、3月16日)</p> <p>・他団体の講演等に参加 日本BPW長崎クラブ例会「誰もが生きやすい社会にするために」参加(7月20日)*</p> <p>★地域ブロック会議 地域ごとの課題解決を目指して活動した。</p> <p>・県内全域での活動を目指しているが、主に和歌山市内で開催されることが多いことから、遠方からの出席が難しい会員の参加促進にむけて、会員の住居地別で4ブロックに分かれ、地元で話し合う「地域ブロック会議」を設けている。</p>

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>各ブロックでは、昨年に続いて各自が自宅で出来る「マイ・トイレセット」備蓄にむけた新聞紙の箱型づくりへの協力ほか、能登半島地震義援金募集など、広く会員に呼びかけた。</p> <p>また、地元市町からの協力要請に応じて「ファミマ・フードドライブ」活動への協力（紀中ブロック）なども行った。</p> <p>＜地域ブロック別の活動日＞ 和歌山ブロック/和歌山市・県外（5月21日）有吉佐和子記念館（和歌山市）訪問ほか 紀北ブロック/那賀地域・伊都地域（9月13日・10月25日）意見交換会ほか 紀中ブロック/海草地域・御坊市（6月25日）鈴木屋敷（海南市）見学ほか 紀南ブロック/日高郡・西牟婁地域・東牟婁地域（12月13日）総会参加ほか</p> <p>★その他（講演・参加等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「洪水土砂災害は起こりうる場所がどこで」参加（6月10日）* ・「迫りくる首都直下地震、関東大震災の被害、救済、復興に学ぶ」（8月31日）* ・湯浅町民人権学習会（啓発推進員研修会）講義（9月1日） ・むすびえ「子ども食堂オンライン防災座談会」（9月20日）* ・「ニューノーマル社会のセイフティーネットを考える」の参加（1月27日）**
一般社団法人 和歌山県農業会議	<p>★女性農業委員の登用促進に向けた各市町村農業委員会への働きかけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業会議が刊行している機関紙「農政情報 第89号」において、農業委員会の改選結果と併せて本県における女性農業委員の登用促進を呼びかける原稿を掲載し、全農業委員・農地利用最適化推進委員および農業委員会事務局に配布した。 <p>★近畿農政局女性農業委員座談会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿農政局が主催し、京都府で開催された「近畿農政局女性農業委員座談会」へ参画し、近畿府県の女性農業委員とともに、女性農業者としての取組や女性農業委員による活動及び課題・効果、一層の女性の農業委員の登用促進に向けた意見交換を行った。 <p>★女性の農業委員会活動推進シンポジウム等の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）全国農業会議所、全国農業委員会女性協議会が主催した「第19回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」や「女性の委員のための農業者年金セミナー」「女性の委員登用促進研修会」「女性の新任委員初任者研修会」の開催や動画掲載等について、各市町村農業委員会に周知を図った。
特定非営利活動法人 和歌山eかんばにい	<p>★男女共同参画推進に関わる啓発等活動事業（令和5年4月1日～令和6年3月31日）</p> <p>「和歌山県男女共同参画センター“りいびる” 一部委託事業」受託</p> <p>★総会記念講演</p> <p>「ザンビアの女性事情から考える人権」 実施日：令和5年5月21日 講師：塩見善則さん（JICA和歌山県国際交流推進員） 参加者：23人 多くの写真とともにザンビアの実情を知ること、先人が獲得してきた人権の尊さと危うさについても考える機会となった。</p> <p>★県男女共同参画センター“りいびる”25周年記念事業実施（県男女共同参画センターと共催・共同募金会助成事業）</p> <p>①「明日を紡ぐ“ことのは展”」 実施日：令和5年9月1日～令和6年1月20日 参加者：98人</p> <p>②『健康笑顔Live～がんばらなくてもいい「〇〇」になる』 実施日：令和6年1月19日 参加者：30人 講師：わかきん先生</p>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 和歌山eかんぱにい (つづき)</p>	<p>③シアターCafé「Coda コーダあいのうた」鑑賞会 実施日：令和6年1月19日 参加者:19人 ④25周年記念小島慶子さん講演会「あした、笑顔の私に会うために～変化の時代をしなやかに生きる～」 実施日：令和6年1月20日 参加者:153人 講師：小島慶子さん ⑤生きがい教室「50代から始める生前整理～親のため・自分のために～」 実施日：令和6年1月21日 参加者:43人 講師：吉田圭美さん</p> <p>★研修会 ・卓話「メキシコでの暮らし・男女の生きよう～メキシコからの便り～」 実施日：令和5年4月24日 オンライン 参加者：10人 卓話者：橋本芽依さん(会員) ・研修会 「上海庶民生活事情・回顧録」 実施日：令和5年7月19日 参加者:10人 講師：市野政子さん ・卓話「多文化共生の地域づくりへの挑戦」 実施日：令和5年10月4日 参加者:10人 卓話者：中嶋悦子さん(会員) ・卓話「『古本 陽気にゆこう物語』第2話」 実施日：令和5年11月8日 参加者:6人 卓話者：阪口豊彦さん</p> <p>★ミニ講演会 「イランでの講演を終えて」 実施日：令和5年12月2日 参加者：22人 講師：坂東真理子さん</p> <p>★エンパワー・エンカレッジ研修会「EXCEL教室はじめのハジメ」 実施日：令和6年2月17日～3月16日 全4回 参加者49人</p> <p>★資料の提供 ・男女共同参画関連資料の会員への提供</p>
<p>一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟</p>	<p>★自然体験、国際交流、ボランティア体験などを通じて、考える力、行動する力、協調性を思いやる心、判断力を養い将来にあらゆる状況の時も、自分で判断し、自他の幸福を願って行動できる女性の育成。 ・年長部門・ユース年代キャンプ開催 年長部門：少女や女性自身が、自分の体を知る機会は、なかなかない中楽しみながら自分の体について学んだり、また専門家のお話を聞き知識を得る。また生理用品等の正しい知識を実習を通して学ぶ機会となった。またユース年代：大学生、社会人となり環境が変わる中、ガールスカウトの実践を活かし社会に役立てる力を再認識するため実行委員としての役割、年長部門のロールモデルとして活動できるようキャンプ全体を作り上げるため企画運営を実践する場となった。 ・年代別のキャンプの実施（野外技術習得）実施。 ・年長児・小学生低学年を対象としたアウトドアプログラム事業の実施 少女たちには「楽しくアウトドア体験できること」を実感しスキルを身に付け、保護者にはガールスカウト活動は「楽しいことにチャレンジしながら子供の成長する機会の提供」としての理解を深めてもらう機会となった。 ・各地域での活動（橋本市・紀の川市貴志川町・海南市・岩出市） 各地域で、仲間と協力する力を養い社会のための行動する人を育てるガールスカウトを理解してもらう機会とした。</p> <p>★「ガールスカウトまつり2023」 テーマ～おかねのたび～ 時代のニーズ、年代のニーズに合わせた活動や学びの場を提供し、ガールスカウトに関心を持ってもらい、理解してもらうことで共によりよい社会を作る行動を起こせるように働きかける機会とした。</p> <p>★近畿地区年長部門事業への参加 テーマ：「自分のからだを知ろう、守ろう」 自分の身体の変化に不安や不調を感じる年代でもあるシニア・レンジャー部門の少女を対象に自分のからだを知る、守る機会となるプログラムに取り組んだ。</p>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 チーム紀伊水道</p>	<p>★和歌山県内での交流会実施 ①4月16日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ②5月18日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ③6月11日:2023年度チーム紀伊水道総会・和歌山市交流会 和歌山市河西コミュニティセンター ④7月1日:田辺市交流会 田辺市民総合センター ⑤7月13日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑥8月8日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ⑦8月19日:御坊市交流会 御坊市中央公民館 ⑧9月21日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑨10月22日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ⑩11月16日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑪11月23日:田辺市交流会 紀南文化会館 ⑫12月17日:和歌山市交流会 和歌山市東部コミュニティセンター ⑬1月18日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館 ⑭2月25日:和歌山市交流会 和歌山県男女共同参画センター(現:ジェンダー平等推進センター)りいびる ⑮3月21日:橋本市交流会 橋本市高野口地区公民館</p> <p>★和歌山市での居場所づくり「にじ・わかフェ」の実施(2023年度からの新規事業) ①5月20日:和歌山市東部コミュニティセンター ②7月15日:和歌山県男女共同参画センター りいびる ③9月16日:和歌山県男女共同参画センター りいびる ④11月18日:和歌山県男女共同参画センター りいびる ⑤1月28日:和歌山県男女共同参画センター りいびる ⑥2月25日:和歌山県男女共同参画センター(現:ジェンダー平等推進センター)りいびる(和歌山市交流会前に実施)</p> <p>★イベントへのブース出展、参加、企画 ①5月6日:やっぱ愛ダホ!クローシングイベント~現在、過去、そして未来~ 開催方法:オンライン配信 「やっぱ愛ダホ!idaho-net.」のクローシングイベント及び日本記念日協会の「多様な性にYESの日」の登録団体をチーム紀伊水道が継承することを記念したイベントを実施 ②5月13日:わかやま市民生協地域コミュニティ活動交流会 場所:和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ 内容:2020年度~2022年度まで助成を受けていたわかやま市民生協が主催する、団体交流会へのブース出展 ③5月14日:わかやま愛ダホ!2023 場所:JR和歌山駅西口歩道(正面玄関前) 内容:LGBTQ/SOGIESCなど「性の多様性」に関する街頭でのメッセージの読み上げによる啓発活動、メディア取材等による啓発・広報活動 ④7月17日:保護犬・保護猫の為にチャリティーイベント 場所:円身堂(和歌山市) 内容:ブースでの展示・絵本の読み聞かせ ⑤11月3日:サンバ(産婆)フェスタ2023 場所:11月3日:南海波切ホール(大阪府岸和田市) 内容:ブース出展を通じた啓発活動 ⑥11月3日~11月6日:第3回 白良浜deひらひらTシャツアート展 場所:白良浜(白浜町) 内容:Tシャツアート作品の展示による啓発活動 ⑦12月2日・3日:レインボーフェスタ和歌山2023 場所:2日:和歌山城砂の丸広場(和歌山市)/3日:和歌浦芸術区(和歌山市) 内容:ブースでの展示(両日)/プライドパレード(LGBTQ/SOGIESCに関する多様性を祝い、社会へ啓発をするソーシャルアクション)への参加(2日)/トークイベントに出演(3日)</p>

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 (つづき)</p>	<p>⑧3月3日:岸和田レインボーパレード 場所:岸和田城周辺/岸和田市総合福祉センター(大阪府岸和田市) 内容:プライドパレード(LGBTQ/SOGIESCに関する多様性を祝い、社会へ啓発をするソーシャルアクション)への参加</p> <p>★SNSによる啓発・広報活動 ホームページ:http://kii.coron.jp/ Instagram:https://Instagram.com/kii_suidoh X:https://twitter.com/kii_suidoh facebook:https://www.facebook.com/kii.suidoh</p> <p>★メディア出演による啓発・広報活動 ①5月17日 毎日新聞(和歌山)朝刊 内容:多様な性にYESを! 当事者ら、街頭で理解求め活動 わかやま愛だホ! 2023 ②8月1日 朝日新聞(和歌山)朝刊 内容:和歌山で2例目のファミリーシップ制度 事実婚の男女や子など対象に(理事長のコメント掲載) ③1月18日 みんなの経済新聞(ネットニュース) 内容:和歌山市地域フロンティアセンターで講座「多様な性を知る」 ④ 1月24日 朝日新聞(和歌山)朝刊 内容:和歌山県が「パートナーシップ宣誓制度」導入 2月1日から(理事のコメント掲載) ⑤ 2月 和歌山県広報紙『県民の友 2月号(No.1026)』 内容: ・表紙:理事長・理事・前理事長等が掲載、レインボーフェスタ和歌山2023(2023.12)で撮影 ・和歌山県パートナーシップ宣誓制度:理事のインタビューコメントが掲載 ⑥ 2月4日:テレビ和歌山「きのくに21」 内容:『パートナーシップ宣誓制度』 (理事長が出演、YouTubeで公開されました) ⑦ 3月17日:テレビ和歌山「きのくに21」 内容:『だれもが幸せになれる社会をめざす』。 (理事長が出演、YouTubeで公開されました)</p> <p>★メール相談/対面での個別相談実施 ・性自認や性的指向に関するメール相談を随時実施 ・対面での個別相談(交流会等の会場)で随時実施</p> <p>★講師派遣による講演活動を通じた啓発活動 ① 白浜町の町民の方(女性)を対象にした講演(3会場を別日程で実施) ② 和歌山県の高校(有田市)で生徒(2年生)を対象にした講演 ③ 和歌山県の高校(湯浅町)で生徒を対象にした講演 ④ 和歌山県・日高地方の生徒指導担当教員を対象にした講演 ⑤ 民間団体の会員(全国)を対象にした講演(オンラインで実施) ⑥ 法務局 人権擁護委員(和歌山県)を対象にした講演 ⑦ 和歌山市役所 和歌山市男女共生施策ワーキンググループ(職員)を対象にした講演 ⑧ 有田振興局 人権福祉連絡会福祉職場人権リーダー育成研修会での講演 ⑨ 法務局 人権擁護委員(伊都地域)を対象にした講演 ⑩ 社会福祉事業を行っている株式会社(白浜町)が主催する、地域住民を対象にした講演 ⑪ 和歌山県立の高校(和歌山市)での生徒(高校2年生)への講演 ⑫ 和歌山弁護士会でのLGBTQ研修に関する講演 ⑬ NPO法人団体(大阪府和泉市)が主催する、地域住民を対象にした講演 ⑭ 社会福祉法人事業所(新宮市等)職員を対象にした講演 ⑮ 社会福祉法人事業所(田辺市等)職員を対象にした講演 ⑯ 和歌山市でボランティア活動をしている方、市民を対象にした講演 ⑰ 法務局 人権擁護委員(西牟婁地域)を対象にした講演 ⑱ NPO法人団体(和歌山市)の会員を対象にした講演</p>

数値目標の内容	目標時期
<p>特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 (つづき)</p>	<p>★チーム紀伊水道及びLGBTQ/SOGIESCに関する活動等(交流会/講演/出展以外に関する内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① チーム紀伊水道の理事がファッションモデルとして出演したイベントでのリーフレット配布 ② 株式会社 アワーズ LGBTQ-ALLY 社内サークルの交流会参加(6月、理事長と理事が会場とオンラインで参加) ③ 『セクシュアルマイノリティ きそきそテキスト』(チーム紀伊水道が製作したLGBTQに関する基礎的なテキスト)改訂、ホームページで公開 ④ 公益財団法人 和歌山県人権啓発センターのセンターだより“E.L.F.第85号”にて、監修した4コマ漫画が掲載 ⑤ 第57回全国ろうあ青年研究討論会in和歌山(11月3日～5日)にて、チーム紀伊水道の協賛広告を掲載 ⑥ 『県民の友 2月号(No.1026)』掲載に関するメディア取材 ⑦ テレビ和歌山「きのくに21」出演に関するメディア取材 ⑧ レインボーカフェin岸和田(大阪府岸和田市)での看護学生からのLGBTQ/SOGIESCに関するインタビュー(オンライン/複数回参加) ⑨ 橋本市役所 人権・男女共同推進室からの講師紹介に関する相談 ⑩ セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会2024(2月2日～4日、9日～11日、大阪産業創造館とオンラインのハイブリッド開催)への協賛 ⑪ 和歌山県男女共同参画審議会委員としての活動(理事長:倉嶋 麻理奈) ⑫ 大学・大学院生の研究アンケート協力(複数校)
<p>和歌山県生活研究グループ連絡協議会</p>	<p>★機関誌(年1回)を発行した。 ・男女がともに活躍できる社会に関する会員メッセージを掲載し、啓発を行った。 配付部数約460部</p>
<p>和歌山県婦人団体連絡協議会</p>	<p>★子ども・地域・ふれあい事業の実施 ・次世代に安心を送ることを目的に、地域で子どもを育て、護る。サポートする会員自身が活動を通して、豊かな心を育む機会と場を提供しながら様々な活動に取り組んだ。(和歌山市砂山婦人会で実施)</p> <p>★心とからだの健康を考えるつどい ・元気で健康的なライフスタイルを続け、生活習慣などに対して、正しい知識を身に着けよう!!をスローガンに掲げて開催。会場の日高川町山村開発センターに、県下婦人会員や地域の方々約80人が参加しました。 講師に画僧の牧畜恵氏を迎え、テーマを「画僧が考える心とからだ」と題してのお話は、私たちが何気なく過ごしている日々の自分を改め、限られた時間を如何に有意義に過ごすか考えることが大切だと気付かされました。</p> <p>★リーダー研修会 ・男女共同参画の推進と地域社会における様々な課題について、認識を深め、ともに学び、ともに語り合う。さらに地域婦人会としての時代に対応した活動の見直しとより自立的な組織をめざすことを目的に、和歌山ビッグ愛に会員60人が参加しました。内容は、「和歌山県のwell-being 仲間と一緒に活動するライフスタイルを考える」をテーマとして、和歌山大学長 本山貢氏の講演と「発達障がいをもっとポジティブに生きる 当事者として、母として」をテーマに神戸ピカソカウンセラーの笹森玲子氏にそれぞれご講演いただいた。ほか子ども・地域・ふれあい事業の発表、各種事業への参加報告等を行った。</p>
<p>和歌山県和裁協会</p>	<p>★10月24日、26日 ・海南市立下津第二中学校でもものづくり魅力講座を行い、手ぬぐいを使ってあづま袋を作ってもらいました。</p>

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
和歌山県和裁協会 (つづき)	<p>★11月3日 ・和歌山ビッグウェーブメインアリーナで開催された「紀の国わかやまものづくりフェア2023」に参加しました。</p> <p>★12月15日 ・老人介護施設訪問 特別養護老人ホーム君里苑に綿入れちゃんちゃんこ40枚贈呈しました。 累計で418枚になります。</p>
ITO☆WINN	<p>★啓発活動 笹田公民館サークル発表会参加【笹田ふるさと交流館】 いろいろなりボン運動についての説明文を展示。 ツリーにリボンをつけてもらう。 ポスターの展示。 啓発チラシ、本配布（DV あなたは悪くない・もしかしてデートDV？・いやっていいのだよ・お節介先輩からのお節介アドバイス他）</p> <p>★研修会参加 「男女共同参画ってなぁに」アクト研究室鳥淵朋子さん</p> <p>★総会・定例会（月1回第4木曜日ふるさと交流館）開催予定だが、コロナも影響して定例会の開催が余り出来ていない。 地域の情報及び旬の出来事、それぞれ参加の講演会研修会の情報についても共有する。 会として定例会、行事の前にはメール又はライン連絡をしている。レジユメ、議事録は毎回発行。全員で情報は共有したい。 ミニ学習 特殊詐欺について ミニ学習 共同親権について ミニ学習 ベーシックインカムとは ミニ学習 コロナ闘病記 NO.1、NO.2</p> <p>★かつらぎ町WHP（かつらぎ町による人権と平和を考える会）に参加 会議及び研修会及び理事会に代表参加</p>
ウィズ・ア・スマイル	<p>★県や市の行政職員や他団体との協働で男女共同参画週間中に啓発活動を行った。 ・街頭啓発としてお風呂の入浴剤バブやマスクを配布した。</p> <p>★男女共同参画プラン策定委員会として出席した。 ・御坊市役所にて年4回に渡り男女共同参画プラン資料作成のための意見交換を行った。</p> <p>★第8回御坊市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議に出席した。</p> <p>★御坊市マスタープラン策定委員会の会議に出席した。</p> <p>★県知事とのタウンミーティングに招待され出席した。 ・御坊市総合運動公園の東屋にて活動や仕事の展望の話をして交流した。</p> <p>★御坊市運動公園で絵本の読み聞かせワークショップイベントを実施した。 ・りいぶる提案事業に採択され「みんなちがってみんないい」をテーマに音楽や絵本を選んだ。 ・参加者は5カ所のポイントをまわって感想などをアンケートに書き込んだ。 ・30人ほど参加した。</p> <p>★わかやま人権パートナーシップ推進事業に登録した。</p> <p>★若者のサークル活動支援を行った。 ・日高高校・和高専・南陵高校・大学生を集め話し合い一つの目標を作り（音楽イベントになった）一年かけて準備をした。</p>

取組団体名	取組事例
<p>ウィズ・ア・スマイル (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル集会には10名ほどの生徒らが入り出した。 ・イベント当日は引越しゃ進学就職準備と重なり4人の学生が歌を披露した。 ・地域の大人たちの協力を得てイベントが成り立ち満員御礼（50名）になった。 ・ゲストにシンガーソングライターの藪下将人さんも応援に駆けつけてくれた。 <p>★空き小屋再生居場所プロジェクトを継続した。（4年目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年からボロボロの空き小屋再生活動を行っている。 ・小屋を地域の本部屋にすることになり地域の方の協力を得て古本3000冊を収集した。 ・小屋の管理を継続した。 <p>★他団体が実施しているイベントに出店しアンケートに協力してもらい啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体との交流を行った。 ・メンバーたちで考えたアンケートを30名の方に協力してもらった。 ・後日集計しメンバーで意見交換を行った。
<p>和歌山友の会</p>	<p>★子ども係（毎年変わる）主催の集まり。4回のべ40名参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルセンター見学とお花見 ・防災リュックの点検とサンドイッチ作り ・子どもたちのzoom会議 時間しらのふりかえり ・海南市自然博物館見学と野外遊び <p>どの集まりもできるだけ子どもたちが考え話し合えるようにしている。そして事後には子どもたちの作文を会報に掲載している。</p> <p>★公民館主催行事に頼まれ講習 8/10 橋本市にて「子ども料理講習会」子ども11人 保護者3人</p> <p>★11/3 子育てイベントにおいて、「子育て中の心にゆとり 鍋帽子®の展示と説明」のブースを設置し、約60人に説明した。鍋帽子®は布製の保温調理用具である。</p>
<p>特定非営利活動法人 ホッピング</p>	<p>★和歌山市地域子育て支援事業「ドレミひろば」・「komodo」の開設（和歌山市より受託）（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子が気軽に集える場の提供 ・子育て相談と情報交流活動 ・親子教室及び講座の開催 <p>★養育支援訪問事業育児・家事援助業務（和歌山市より受託）（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児家事実施計画に基づき訪問員を対象家庭に派遣し育児援助・家事援助を行う <p>★女性の就労支援事業（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きたい女性のおしゃべり交流会の実施（毎月1回） <p>★令和5年度和歌山市みんなで子育て推進事業（和歌山市より受託）</p> <p>「わかやましステキなかぞく大作戦！」～夫婦で子育て、みんなで子育て～夫婦・パートナーがお互いの立場について理解を深め、チームとして子育て・人生に携わる関係を築くきっかけとなるワークショップを開催した。</p> <p>2023年8月26日（土）夫婦のパートナーシップ「隣の子育て聞いてみ隊！」</p> <p>2023年9月24日（日）パパと一緒に体を動かそう！親子で笑顔になれるかけっこ教室</p> <p>2023年10月29日（日）家族の未来を疑似体験！「生活経営ゲーム」</p>

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 ホッピング (つづき)	<p>★女性の起業支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ講師®運営事業(通年) 趣味・特技を活かして日々活動されているママをホッピング登録ママ講師®として登録。ママ講師®同士の交流会や、企業への紹介、セミナーやスキルアップ研修などを行った。 <p>★おしゃべり広場ホッピングの実施(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家にこもりがちな0~2歳の未就学児親子を対象に、手遊びや絵本の読み聞かせなど気軽に参加し親子で交流してもらえるようなひろばを開催した。